

ウェブメールを安全に使う 上

パスワードが命綱 ■ 長所がそのまま弱点に

従来、メールといえば、プロバイダーなどから配布されたアドレスを使い、メールソフトで送受信するのが普通でした。しかしこの数年、ブラウザを使って、メールソフトと同じかそれ以上に使い勝手のいいウェブメールサービスが現れています。代表はGoogleが提供するGメールでしょう。便利なサービスですが、注意すべき点もたくさんあります。安全に利用するための注意点を2回に分けてお届けします。

(丹治吉順)

てくくの生活入門

従来一般的なメールとウェブメールは仕組みが違います。以下、Gメールを中心に説明しましょう。



一般のメールでは図上の通り、自分のアドレスあてに送られてきたメールはプロバイダーのメールサーバーに蓄積されます。パソコンにインストールされたメールソフトは、このサーバーにアクセスして、蓄積されたメールのデータをパソコンに転送します。多くの場合、転送した後はサーバーからメールデータは消去される設定になっています。つまりプロバイダーのメールサーバーは、自分あてに送られてきたメ

ールを一時保管する場所にすぎず、メールの最終的な保存場所は自分のパソコンのハードディスクです。

一方、Gメールなどのウェブメールでは、図下のように、メールデータはサービス提供者（GメールならGoogle）のサーバーに保存されています。利用者はブラウザを使って、サーバーにあるメールを閲覧します。特別な操作をしない限り、自分のパソコンにメールデータは保存されません。

現在、Gメールはさまざまな便利な機能を追加しており、単純に使いやすさや操作性を比較したら、Gメールの方がすぐれている面が多くあります。

一般のメールの場合、受信したメールは通常サーバーから削除され、パソコンにだけ保存されるので、パソコンのハードディスクが故障したら、すべての

メールが読めなくなる可能性があります。

GメールのメールデータはGoogleのサーバーにあるため、一般のパソコンのハードディスクに比べて、データを失う可能性は非常に低いといえます。Googleは、データを何重にもバックアップしているからです。

加えてGメールは、サーバーにデータを残しつつ、自分のパソコンにそのコピーを保存する設定にもできます。



このようにGメールは、きわめてすぐれたサービスです。しかし悪用されると、長所がそのまま大きな弱点になってしまいます。

何といたっても気をつけなければならぬのはパスワードです。どんなサービスでもそれは重要なのですが、Gメールの場合、ID（サービスを利用する際の利用者別の名前）がメールアドレスそのもので秘密にできないため、パスワードだけがデータを守るとりでになります。

その点は一般メールも同じですが、一般メールは過去のメールが通常は削除されています。万が一パスワードが漏れた場合、新規に届いたメールは見ら

れてしまいますが、過去のメールはパソコンからデータが盗まれない限り見られません。

しかしGメールは、特に消去しない限り過去のメールがすべて残っています。過去、取引先や親類の個人情報を書いたメールが送られてきたことはないでしょうか。インターネットバンクなどのIDとパスワードを、自分あてのメールで送ったりしていないでしょうか。Gメールのパスワードが漏れたら、こうしたデータを見られたり、コピーされたりしてしまいます。設定を知らぬ間に変更されて、メールを自動転送されることなども考えられます。GメールのIDとパスワードは、他のGoogleのサービスと共通なので、検索履歴やGoogleカレンダーに記録したスケジュールなどを見られる可能性もあります。



こうした悪用を防ぐ具体的な方法は次回解説しますが、とりあえずパスワードの管理には十分に気をつけましょう。第三者から類推されやすいもの（自分の名前や誕生日、電話番号など）や、他のネットサービスと共通のパスワードは絶対に避けましょう。

一般のメールとウェブメールのちがい

一般のメールの仕組み



受信されたメールは通常はサーバーから消去される(過去のメールは残らない)



メールデータは自分のパソコンに保存される

ハードディスクが壊れたら、バックアップをとっていない限り、過去の全メールを失う

ウェブメールの仕組み(Gメールの場合)



標準的な使い方の場合、メールはすべてグーグルのサーバーに保存され、自分のパソコンはそれを見に行くだけ(過去のメールは、意図的に消さない限りサーバー上にすべて残る)

webmail 注意!!

パスワードがもれると...



1

過去のすべてのメールを見られてしまう



2

過去のすべてのメールのコピーをとられる



3

設定を変更されて、将来のメールも外部に転送される



4

メールだけでなく、グーグルを使った検索や閲覧の履歴も見られてしまう



...などの可能性がある